
この本をお使いになる方へ

「聞き取り」にとっていちばん大切なことは何でしょうか。それは、自分自身のこととして聞くことではないでしょうか。これまでの聴解教材や聴解テストは「傍聴型」が多かったと思いますが、本書は「参加型」で、日本語学習者が聞く過程を強化しながら「わかる!」「できる!」が体感できるように開発された聴解教材です。学習者が当事者になりきって聞き、自然に反応しながら会話に参加できるようになることを目指し、理解できない場合には、さまざまな聞き返し方法を使って相手からさらなる発話を引き出し、理解できるように練習します。

本教材は、第二言語習得理論をベースとした研究と実践に裏付けられており、意味のあるやり取りの中で「 $i + 1$ (アイ プラス ワン)」すなわち、「学習者の能力 i 」+「少し上の知識 1 」を意識した聴解練習ができるよう作られています。それぞれのユニットの中で、また本書全体を通して、無理なくレベルアップし、聞いて理解し、会話に参加し、さらには相手から話を引き出す、そんな聞く達人を目指してください!

1 この教科書の対象レベルと目標

この教材は、中級後期から、上級を目指す方々を対象としています。日常のさまざまな場面やトピックにおいて、まとまった説明を目的に即して理解し、共感を示したり、わからない点については聞き返したりできる能動的な聞く力をつけることを目標としています。少し下のレベルの場合には語彙を先に導入するなど工夫し利用することが可能です。また、上のレベルであっても生の会話に不慣れな学習者には適したものとなっています。各ユニットで何を学ぶことができるかについては、扉ページにCan-doにあたる「このユニットでできるようになること」が書かれていますので、ぜひ学習者と一緒に確認してから始めてください。

2 この教科書の特徴

本書では、日本語学習者が当事者に「なりきって」聞きます。なぜ「なりきる」のか。それは、実際の聞く場面の多くにおいて、人々は目的を持って必要な情報を聞き取り、自分に必要のない部分は聞き流しているはずだからです。ですからこの教材においても、自分に関係のない音声は無目的に聞くのではなく、その当事者になりきって必要な情報を聞いてほしいのです。

本書の練習では、当事者になりきりやすいように、状況と「なりきりカード」が示されています。「なりきりカード」とは、当事者が持っているはずの（もしくは持っていないはずの）前提となる情報が示されたカードのことです。それをもとに会話の当事者として能動的に聞き、反応・応答できるようになることを目指します。本書に収録されている音声は、大学生や社会人、落語家

との間で実際に行われた会話をもとに「生きた」聞き取り状況を教材として再現し、当事者として「聞きたい」と思える内容となっています。ユニットを追うごとに日常から非日常、具体的なものから抽象度の高いものへと内容が配置され、無理なくレベルアップできるようになっています。

3 この教科書の構成

本書は全部で10ユニットあり、各ユニットは次のような内容で構成されています（ユニット9・10は提出順序が異なります）。

- ・聞く前に
- ・聞いてみよう
なりきりリスニング①②③→もう一度聞いて確認しよう→聞き返す練習をしよう
- ・聞いたあとで
なりきりリスニング：会話に参加しよう→話してみよう→生きた聞き取り
- ・語彙を増やそう

4 この教科書の使い方

本書の中心となる「聞いてみよう」では、まず「タスク先行型」の「なりきりリスニング」を行います。「なりきりカード」で立場を理解した上で、そこにいる当事者として聞き、会話の最後に何を話すか選びます。次に、再度同じ会話を聞き、相手の話していることが正しく理解できているかを確認するための内容確認の問題を行います。そして、聞けなかった場合に聞き返したり、確認したりしながら会話を進めるストラテジーを身につける練習をします。

「聞いたあとで」では、「聞いてみよう」の当事者になりきって聞く練習、「なりきりリスニング：会話に参加しよう」を行います。「生きた聞き取り」があるユニットでは、そのユニットのもととなった「生の会話」を聞く体験ができるようになっています。

さらに、「語彙を増やそう」では、推測しながら聞いていた新しい語彙について、耳から導入し、概念とマッチングさせながら、意味を理解し、定着を図る練習をします。そして時間外の活動として、その語彙を使った「聞き取りトレーニング」で聞く力の筋力アップを図ります。

以上のように、この教科書では、異なるタスクを用いてさまざまな角度から聞く力を強化しつつ、自然にインプット回数を増やすことができます。その過程で、聞いて「わかる!」という実感、会話に参加「できる!」という実感を高めていきます。未知語が多くて難しいようなレベルの場合には、語彙を先に導入してから会話を聞くなど、学習者のレベルに合わせた「橋渡し」を現場の先生に工夫していただけたらと思います。

本書は、ユニット1～8と、ユニット9・10で構成が異なります。それぞれの具体的な使い方を次のページ以降で紹介しますので参考にしてください。そして、耳を鍛えながら、日本のリアルな生活や文化を楽しく学んでください。

ユニット 1～8

聞く前に

テーマに関連する話し合いでウォームアップ。自分にひきつけて考えられるよう、文脈化・活性化を試みる。

聞いてみよう

「なりきりリスニング」では、問題文を読んで場面を把握し、「なりきりカード」で「あなた」の立場をよく理解する。冒頭のスクリプトを見ながら聞いて「あなた」と相手の声を確認し、「あなた」になりきって相手の話を聞く。「聞く」ことに集中できるように、会話はすべてを文字で見せず、省略している部分を  で示している。スクリプトでは文字化されていない相づちも意識するとよい。会話の最後に合図の音  が鳴ったところで「あなた」は何と言ったらよいか、教師は、音声を一時停止させて学習者の解答を待つ。

知らない語彙があって難しい場合は、聞く前に巻末の語彙リストで語彙を確認したり、「語彙を増やそう」を先に行ったりしてもよい。

●もう一度聞いて確認しよう。

「なりきりリスニング」と同じ会話の最後の完全版を聞いて質問に答え、理解を確認する。

聞き返す練習をしよう

ユニットごとにいろいろな方法で聞き返す練習を行う。単純な語の繰り返しだけではなく、相手の話した内容をまとめて言い換えて確認する練習も含まれている。複雑な聞き返しの場合は [] で語彙を示し、それを用いて聞き返すようになっている。聞き返す方法にもいろいろなバリエーションがあるということを意識づけて行うとよい。

聞いたあとで

「なりきりリスニング：会話に参加しよう」では「なりきりリスニング①～③」のうちの一つの会話に参加する。状況を確認してから、「なりきりカード」をよく読み、「あなた」に「なりきる」準備をする。その上で相手の音声を聞きながら、「あなた」のパートを声に出して言う。音声は「聞いてみよう」の「あなた」のパートを抜いたものを使用している。相手が話している間の「あなた」の相づちは残っているので、一緒にタイミングよく相づちをうちながら聞くとよい。元の会話と一字一句同じである必要はなく、自分なりの言葉で、会話が成立すれば、「なりきれた」ことになる。

話してみよう

取り上げられている内容に関連するトピックについて、自分自身の経験や考えを述べ合う。

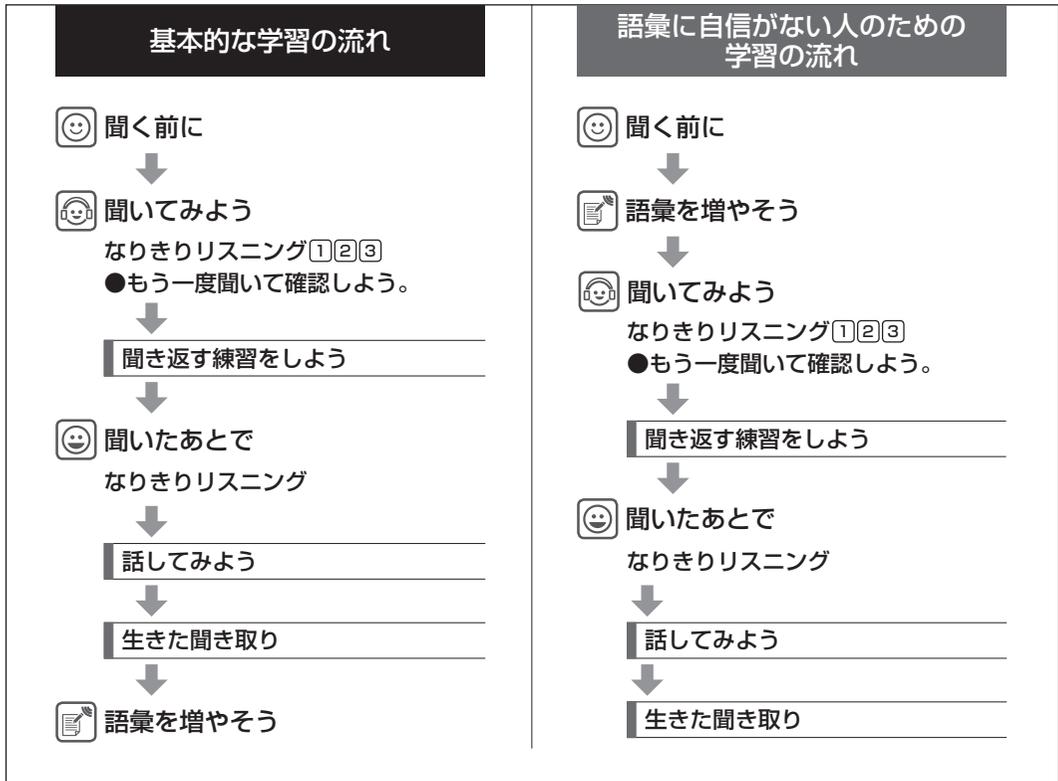
生きた聞き取り

ユニット2～4、6～8には「生きた聞き取り」がある。声優による録音ではなく、「なりきりリスニング」の元となった生の会話や、関連する内容の生の会話が収録されている。ここ

までの練習を踏まえ、「生の会話が聞き取れる」ことを実感し、自信をつけてほしい。

語彙を増やそう

- ① このユニットで扱った語彙や関連する語彙を聞き、意味とのマッピングを行う。未知語が多い学習者の場合には、先に教師が簡単に各語彙を説明してから行ってもよい。
- ② 語の説明からキーワードを聞き取り、意味の理解を深める。レベルに応じて、一文ずつ音声を一時停止させる、全文を一度聞いてから書く時間を与える、など、やり方を工夫するとよい。以下に、ユニット1～8の基本的な使い方を2パターン示す。



ユニット 9

ユニット9は、日本文化の一つである落語の小噺を聞いて楽しむための構成となっている。

聞く前に

語彙を増やそう

小噺に関連する語がわかると理解しやすいので、ユニット9では先に語彙を導入する。

聞いてみよう

落語家・柳家さん喬師匠の小噺を聞く。各小噺の前に、理解のヒントとなる質問に答えたいうえで、小噺を聞くようになっている。聞いたあとで、理解を確認する質問に答える。

聞いたあとで

「聞いてみよう」の小噺それぞれの登場人物の一人になりきって演じてみる。

話してみよう

「聞いてみよう」で聞いた小噺について話し合い、実際に小噺を演じてみる。

生きた聞き取り

さん喬師匠の別の小噺、「泥棒」と「酔っ払い」を聞く。

ユニット | 10

ユニット10は、専門家や詳しい人にインタビューし、その内容を理解したうえで、相手に話を促すことができるようにするための構成になっている。

聞く前に

語彙を増やそう

「聞いてみよう」のインタビューの内容を理解するには、落語についての深い理解が求められるため、語彙の導入を先に行うとよい。

聞いてみよう

「なりきりリスニング」では、インタビュアーの一人になりきって、さん喬師匠へのインタビューを聞く。学習者のレベルに合わせて、先に質問内容を確認してからインタビューを聞いてもよい。

聞いたあとで

「なりきりリスニング：会話に参加しよう」では、インタビュアーになりきって、相づちを打ったりしながら聞く。

話してみよう

自分がインタビューするとしたら、どんなことを聞いてみたいか話し合う。

生きた聞き取り

インタビューの内容を踏まえ、さん喬師匠の落語「初天神」を聞いて味わう。

巻末

聞き取りトレーニング

「語彙を増やそう」の音声を用いて、穴埋めと、聞きながら言う練習を行う。時間外や自宅学習として活用し、聴解の筋力アップを図る。

語彙リスト

各ユニットに出てくる語と読み方のリスト。

ユニット

2

食べる楽しみ

このユニットでできるようになること

料理の作り方や食べ方の説明を聞いて理解し、
共感を示すことができる。

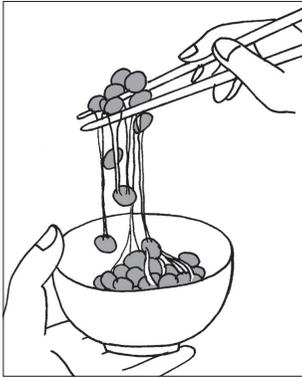
To listen to and understand an explanation of how food is prepared and eaten, and to be able to convey a sincere interest in what one is learning.



聞く前に

① 次のような料理を食べたことがありますか。どうでしたか。

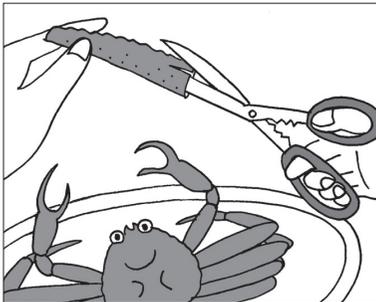
a.



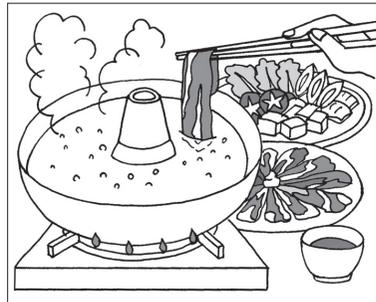
b.



c.



d.



② あなたの好きな料理は何ですか。それはどんな料理ですか。



聞いてみよう

あなたは留学生です。「なりきりカード」で「あなた」の立場を確認してから、友達が話す、いろいろな食べ物の話を聞いてください。

なりきりリスニング ①

今、あなたは友達と、日本の食べ物について話しています。会話の最後の合図Qの後で、あなたは何と言いますか。a、bから選んでください。 02-01

なりきりカード

- ・あなたは日本の食べ物について知りたい。
- ・納豆の食べ方をよく知らない。

あなた①：日本で食べた料理の中で、「これは」って料理ありましたか。

友達①：あー、あの、納豆がああ、日本に来る前に、
あ、ま、日本人の、なんか朝ご飯の時に食べる、発酵食品だっていうのは知ってたんですけど、……



あなた②：Q ()

- a. そうですね。ちょっと食べてみたいです。
- b. そうですね。初めてでそれは勇気いりますね。

発酵食品：fermented food
ほっこう

生卵：raw egg
なまたまご

● もう一度聞いて確認しよう。 ● 02-02

- (1) 納豆は普通どのように食べると言っていますか。
ふつう
- (2) 友達はなぜ「パス」と言っていますか。

なりきりリスニング ②

今、あなたは友達と、日本の食べ物について話しています。会話の最後の合図①の後で、あなたは何と言いますか。a、bから選んでください。 ● 02-03

なりきりカード

- ・あなたは、日本の食べ物について知りたい。
- ・お麩のお吸い物について知らない。

あなた①：今まで食べた料理で、「これは」って料理ある？

友達①：私、なんか、石川県のお吸い物ですごく好きなのがあって。



あなた②：① ()

- a. へえ、そんなのあるんだ。
 食べてみたいな。
- b. へえ、そんなのあるんだ。
 料理してみたいな。



写真提供：加賀麩不室屋

- (お)麩：[instant soup containing] *o-fu*, dried bread-like pieces of wheat gluten
- もみじ型：shaped like maple leaves

● もう一度聞いて確認しよう。 ● 02-04

- (1) 友達の好きなお吸い物はどうやって作りますか。
- (2) 友達はどのようにしてこのお吸い物を紹介したいと思いましたか。



聞いたあとで

なりきりリスニング | 会話に参加しよう

なりきりリスニング ① の会話に参加しましょう。今、あなたは友達と、日本の食べ物について話しています。なりきりカードの内容を参考に、「あなた」のパートを、合図🗣️の後自分の言葉で言ってください。🕒 02-15

なりきりカード

- ・あなたは日本の食べ物について知りたい。
- ・納豆の食べ方をよく知らない。

あなた①：日本で食べた料理の中で、「これは」って料理ありましたか。

友達①：あー、あの、納豆がああ、日本に来る前に、

とか、からかわれたりして。

あなた②：🗣️ へえ、_____?

友達②：100回はひどいですよね。

混ぜてたんですね。

あなた③：🗣️ えー、_____?

友達③：んー、でも、僕、

無理って。

あなた④：🗣️ ははは、私も_____。

友達④：_____

さすがにそれは、ちょっとパス。

あなた⑤：🗣️ そうですね。[初めて/それ/勇気/いります]。

_____。

話してみよう

日本の食べ物で印象的だったのはどんなものでしたか。それを食べてどう思いましたか。
いんしやうてき

生きた聞き取り

3人の大学生の会話です。女子学生が、お麩のお吸い物について話しています。自然な
ふ す もの しぜん
会話を楽しみながら聞いてください。 ● 02-16



写真提供：加賀麩不室屋



語彙を増やそう

① 調理の仕方を説明しています。a～hのどれのことですか。 ● 02-17

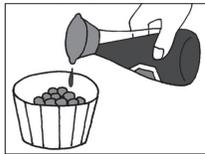
(1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

(5) _____ (6) _____ (7) _____ (8) _____

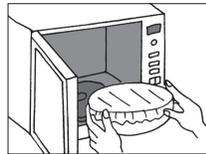
a.



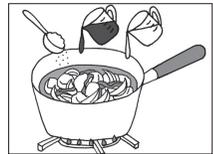
b.



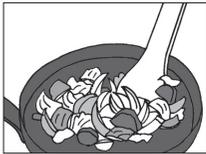
c.



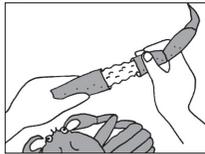
d.



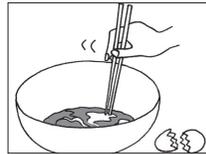
e.



f.



g.



h.



② 音声を聞いて、下線に入る言葉を書きましょう。

(1) 納豆 ● 02-18

日本に来る前に、納豆を食べたことがありませんでした。

日本人が朝ご飯の時に食べる発酵_____だとい

うのは知ってましたが、どうやって食べるのか、初めはちよっ

とわかりませんでした。納豆に醤油を_____

あとで、箸で数回_____、_____

にして食べることを初めて知りました。

